

市長と語ろう地域ミーティング〔 粟田部地区 〕開催結果

開催日時 平成21年 5月19日(火) 午後7時30分～9時05分
会場 花筐公民館 2階 和室
出席者(地区) 100人
(市側) 市長
総務部長 今立総合支所長 企画部理事
維持管理課長 防災安全課長 教育総務課長
総務部政策幹 今立総合支所政策幹 福祉保険部政策幹
進行 今立総合支所市民福祉課 課長
記録 市民福祉課 副課長
担当 (財務課) 主事、(市民自治推進課) 副課長

市民憲章の唱和

表彰 前花筐自治振興会会長

挨拶 花筐自治振興会会長

こんばんは。本日は大変お疲れのところ、多数ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。また、市長さんはじめ市議員並びに市職員の幹部の方々に多数ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

一昨年より3年間にわたりまして、今、表彰状をいただかれました前自治振興会会長さんを中心に、事務局長、並びに専門部長8人の方が、この自治振興会の立ち上げからレールを敷いていただきましたことを、たいへん高い席ではございますが、感謝を申し上げたいと思います。

粟田部区長会におきましても、一昨年より自治組織の統合に合わせて、自治振興会の会長を兼任していこうという考え方から、機関決定を経て、26区を8区にする準備に入り、今年から地区区長会長が2年間、自治振興会長を兼任でやっていくということになっています。

いろいろ区長会でも検討してまいりました。一つは自治振興会を立ち上げましたが、粟田部地区の住民にとって自治振興というのが非常になじみが薄いということが問題点でありました。今年度から、区長会長が自治振興会長になり、地区住民になるべく自治振興を分かりやすく、区長さんを通じてご説明をしてまいりたいと思っています。

早急に、自治振興会委員の推薦を区長さんに、1区15人以上推薦してもらえないかをお願いをいたしております。順調に名前が挙がっていると聞いておりますが、今後、いろんな方々にお手を挙げていただくということが趣旨であります。とりあえず5月までに専門部の部長を決めていただいて、実質的な事業を5月の終わりからやっていきたいと思っております。

今後、いろんな形で我々も自治振興会を運営していくわけですが、今後は各種団体の方々もご協力いただきまして、協働のような形で運用をしていきたいと思っております。

ただ、1点、私も気にかかっているのが、区長というのは男の方が出られるということで、たいへん男社会になりつつあるということです。今回は、元女性会会長にお願いをいたしまして、今後はどのような形で女性の方々に参加していただけるかと、2年間かけて副会長ともども、考えていかなければと思っています。

長くなりましたが、本日は「地域ミーティング」ということで、市長さんはじめ、市の幹部の職員も身近にこられておりますので、地域住民にとってはいろいろ身近に市政を感じることができ、また、質問をしていただければ、もし分からない点があれば後からご報告を受けるといい機会でございますので、活発なご議論をお願いをいたしまして、一言、ご挨拶とさせていただきます。

紹介（敬称略） 振興会副会長 同じく副会長、事務局長、事務局次長、
会計担当。地元市議会議員議員

市長 挨拶・説明

（特記）新型インフルエンザについての対策と市民の協力お願い

代表質問（地区一括質問として、5題を続けて地区より発言。パワーポイント使用し資料補足につき末尾に添付）

Q1：粟田部地区区長会事務局長

<防災設備(サイレン)の改良を要望する。>

今年の区長会の大きなテーマとして、自主防災の充実を考えております。自主防災組織の立ち上げに対する、市からの助成も今年度が最後ということですので、各区長さんはじめ皆さん協力して自主防災組織の今年度内の結成を是非お願いいたします。

ところで、昨年度の11月16日の防災訓練の際に、非常にサイレンが聞こえなかったということが、皆さんからお聞きしております。非常時にはサイレンのボリュームを大きくしたり、発信音についても、また考えて欲しいということを要望します。

A1：総務部長

それでは、防災のサイレンのご質問にお答えさせていただきます。

昨年の総合震災訓練時には、武生地区にサイレン設備が未整備のために、サイレンは使用せず、今立地区に新たに設置した屋外拡声子局や区長宅に配備した戸別受信機を使用して、音声による緊急情報を発信したところです。

この緊急情報が聞こえなかったという意見をお聞きしているところでございますが、市といたしましては、災害時の情報を地域住民の方に迅速かつ的確に伝達するために、昨年度、今立地区において防災行政無線の整備を行ったところでございます。

整備としましては、既に今立総合支所など6箇所に設置されている火災発生を知らせるサイレン（伝達範囲2km）に加えて、今立の各地区に屋外拡声子局（伝達範囲300m）の設置や区長宅への戸別受信機の配備を進めてきたところでございます。

昨年の11月の総合震災訓練につきましては、サイレンが聞こえなかったということですが、音声による緊急情報の発信がこれによってできるようになったということでございます。

こういった音声による情報発信につきまして、伝達範囲に限られているということですので、特に水害時には、まず今まで設置されておりますサイレンで緊急事態を知らせ、次に住民の皆さんが避難した場所において、防災行政無線の屋外拡声子局を使用した音声による緊急情報で伝達する方法に改めさせていただきたいと考えているところでございます。よろしくご理解を賜りませうようお願いいたします。

Q 2 : 花筐公園保勝会

<花筐公園の桜がてんぐ巣病の処置を望む。>

4月26日の福井新聞で「てんぐ巣病の桜放置」という見出しで、日本花の会県支部の調査で花筐公園の桜がてんぐ巣病であることが分かったということが、記事に掲載されておりました。

私たちは、花筐公園の保勝会として、公園を守る者として、非常に残念な記事であったと思っています。

低い枝の「てんぐ巣病」というのは保勝会で駆除をしておりますが、高い所については危険がありますので、なかなか駆除がしにくいので、たいへん悩んでいるところが実情であります。また、桜の木も老木ですので、枯れ枝もたくさん見受けられます。

桜の名所である花筐公園は、越前市の看板だと思っております。そこで、非常に高い所の駆除や作業は危険を伴いますので、市の協力をぜひお願いしたいとの要望です。よろしく申し上げます。

A 2 : 維持管理課長

ご質問のありました「てんぐ巣病」につきまして、お答えをさせていただきます。

市といたしましては、5月の連休明けから専門の業者さんをお願いをいたしまして、現在、場所それから数量等の把握を行っているところでございます。この調査結果がまとまれば、防除の時期は冬から春にかけてと言われておりますので、保勝会の皆さんと一度ご協議させてもらう中で、感染枝の切除や殺菌処置等の防除を行っていきたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

これまでも公園の管理につきましては、適切に管理をさせていただいていると思っておりますし、引き続き、施設の管理はもちろんでございますが、景観の維持保全についても努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願いいたします。

平成19年度から5ヶ年の花筐公園整備計画を立て、花筐保勝会の皆さんと協議をしながら改修等、整備を行っているわけでございますけれど、てんぐ巣病の防除についても、この施設整備と併せて取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

Q 3 : 花筐小学校PTA

<花筐小学校のプールに目隠しフェンスの設置を要望する。並びに校庭の芝生化についての考えを伺う。>

まず要望ですが、花筐小学校の子供たちの防犯の面から考え、プールの北側に目隠しのフェン

スの設置をお願いしたいと思います。理由としまして、花筐小学校のプールは一般車両や人の往来がある道路に面しております。そのため金網のフェンスプール内で児童が泳いでいるのがよく見える環境にあり、指導をしてくださっている女性の先生にとってもとても気になるようになっていきます。

また、通行人の方にはカメラを向ける人もいると聞いておりますし、花筐地区の祭りに、特に、女子の児童の写真を撮って名前を聞いて回るといの方が、出回っているというお話も聞いております。

そういうことがあり、地域の方々がちょっと見るだけでも不審者と思われるのではないかと思います、通ることも遠慮がちになってしまっていますので、フェンスの設置をお願いしたいと思います。

もうひとつお伺いしたいのですが、花筐小学校の校庭を芝生化する計画などはないかということです。芝生化をする計画を進めている、越前市以外の自治体もあると聞いていますが、越前市では芝生化についてはどのような考えを持っておられるのか、ということについてお聞きしたいと思います。

A 3 : 教育総務課長

現在、市におきましては、大変厳しい財政状況の中ではありますが、子供たちの安全安心の観点から、学校施設の耐震化を市の最優先課題と位置づけております。花筐小学校の体育館を本年度、校舎を来年度、耐震補強をする予定です。市内の学校のそれぞれの耐震補強の早期の計画完了を目指す中で、耐震化事業の推進を図っているところであります。

こうした中で、今年度の越前市内の全17小学校の校舎や体育館、グラウンドといった施設の修繕予算ですが、年間を通しまして3,020万円であります。1校に平均をいたしますと、約180万円ということになります。教育委員会では、各学校施設の状況をよく確認をいたしまして、限られた予算の中で危険度や緊急度の高いものから優先的に営繕工事を行っております。

ご質問のプールの件でございます。フェンス等の設置につきましては、これも限られた予算の中でございますが、花筐小学校それからPTAの皆さんと協議しながら、簡易的な方法で、部分的に対応できないか検討してまいりたいと思いますので、ご理解をお願いします。

併せまして、不審者など防犯の対応でございますが、安全で安心なまちづくりを進める中で、できれば地域の皆さんの子ども見守り活動の一環として進めていただきたいと思いますので、ご協力をよろしく願いいたします。

次にグラウンドの芝生化でございます。スポーツ活動の安全性の確保、それから強風時の砂塵等の飛散防止を考えますと、教育上や環境上からは一定の効果が期待できるということで、全国的には取り組んでいる学校もございます。

しかしその半面、芝生化の工事、それからその後の水遣り、肥料、芝刈り、そういった等々の維持管理に膨大な時間と多額の経費がかかるということで、現在の厳しい財政状況の中では困難であると考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。

Q 4 : 花筐自治振興会事務局長

< 幹線道路に融雪装置の設置を要望する。 >

武生から粟田部に至る幹線道路について、このところは雪も少なく冬場の通行にあまり支障は

出ていませんが、それでも少し雪が降ると圧雪状態となり、緩むとでこぼこ状態で、慎重に運転しないと事故につながる事になります。

街中の幹線道路の融雪装置の完備とともに、早期の設置を要望します。

A 4 : 市長

まず、道路の話でありますけれども、ご指摘の路線は、ユースの前の市道 7 8 0 8 号を除き、全て県が管理する道路です。

また、道路特定財源が見直されるなど厳しい財政状況の中、地下水の確保も難しく、県からは消雪施設の整備は困難であるとの回答を受けております。

国道 4 1 7 号の融雪は一部できています。市としても早く繋ぐことの効果が高いという認識を持っています。戸谷から粟田部の間を融雪を急いでもらうように、毎年、県に対して重要要望を出している中で、継続して「国道 4 1 7 号の融雪化の採択と早期事業化」を強く要望してまいります。

また、主要地方道武生美山線や主要地方道福井今立線、県道池泉今立線については、県からは道路特定財源が見直しにあるなど、厳しい財政状況にあり、加えて、地下水の確保も難しい状況の中で、消雪施設の整備については困難との回答を得ています。働きかけはしていますが、厳しい認識をしています。

市道については、市では平成 2 0 年春に交通量、国道・県道や公共・公益施設へのアクセス等を考慮して、「越前市道路無雪化事業整備計画書」を策定いたしました。この中で、特に交通量の多い幹線道については、前期 5 年間にどの路線を融雪化の道路に位置づけるかを明らかにしました。その中にユース前の市道 7 8 0 8 号線 (4 8 0 m) は入っていますので、今年度から地下水の確保が難しい今立地区において、河川水の確保の検討を行うという作業を進めます。水源の確認ができた段階で、市道 7 8 0 8 号についての推進を図ることとなります。皆様の期待に応えられるように、がんばっていきたくと考えているところです。

Q 5 : 花筐自治振興会事務局長

< コミュニティバス(のろっさ)の路線を市内まで延長することを要望する。 >

先ほど市長の説明の中にありましたコミュニティバスですが、現在、今立地区だけを巡回しているだけで、旧今立町と旧武生市が合併した効果が還元されていないのではないかという感じがします。

今後、総合支所のいろいろな機能もこれから少しずつ、本庁の方へ統合されていくとか、合併してマイナス面も出てくると思うので、そういうことを補完する意味でも今立地区の「のろっさ」を武生の中心まで乗り入れられるようなことができないかと思います。よろしく願いいたします。

A 5 : 企画部理事

まず、のろっさ並びに福祉バスをご利用いただきまして、ありがとうございます。

お陰様を持ちまして、平成 2 0 年度でございますが、市全体で 99,950 人近くの方がご利用いただきまして、平成 19 年度に比べ 4,400 人以上の方の増加がありました。また、今立エリアのみですと、昨年 1 年間で 14,740 人近くの方がご利用いただきまして、平成 19 年度よりも 1,160 人近

く増加し、順調に利用が伸びており、御礼を申しあげる次第でございます。

現在、市といたしましては、路線バスとの接続を含めまして、いろんな面からさらに利便性を高め、多くの方々に利用をいただけるよう、平成22年4月からの運行に反映するために、見直しを進めているところでございます。

市民バス「のろっさ」の基本的な考え方といたしましては、路線バスが走っていない地域の方々に対しての移動手段を提供して、通院ですとか、買い物等の日常生活を支援させていただく、という目的で運行しているものです。

従いまして、ご要望の武生方面へのアクセスとなりますと、現在、福鉄バスの路線バス「南越線」が、平日往復13本運行されております。福鉄バスもいろいろとがんばっておられますので、この路線をご活用いただきたいと思います。また、65歳以上の方につきましては、毎週火曜と金曜日に路線バスをお使いいただきますと、市民バスと同じ100円で利用できる「福祉バス制度」がございます。現在、今立から武生の路線で昨年14,000人近くの方がご利用されている状況でございますけれども、こちらもぜひ活用していただければと思います。今後につきましても、「人と環境にやさしいまちづくり」の推進のために、また、公共交通の維持と活性化につなげるために、ぜひ公共交通を利用いただきますようお願いをいたしまして、回答とさせていただきます。

Q6：花筐自治振興会副会長

<代表質問の回答に対して再度、要望>

補足的に質問させていただきます。

今、5つの質問があったわけですが、防災無線ですが、11月の時に私もちょうど公民館のホールにいたのです。屋外拡声子局が設置してある電柱と30mぐらいしか離れてないのですが、全く聞こえなかったです。防災ですから、今までどおりのモーター付きのサイレンで、まず一報を知らせることが重要だと思います。今はミュージックサイレンというのが1日4回鳴ってますが、ミュージックでは災害にふさわしくないとはいえますか、あんまりピンとこないのです。

それから学校のプールの件ですが、今フェンスはあるんですが、ある程度丈夫な目隠しをしていただきたいと思いますということでございます。

次に、公園の「てんぐ巣病」についてですが、公園の管理については、維持管理の面から非常に合併してよかったなと思っています。

しかし、あの新聞記事に「放置」と書かれて、本当に心外でした。手や棹で取れるところ、5~6メートルのところはとっているのですが、高いところが非常に難しいので何とかして欲しいということです。

それから、融雪ですけれども、難しいのはよく分かっています。そこで、これはひとつの提案ですけれども、日野川用水は、一応農水省も県も関係ありますし、いろいろ水利権の問題も多分あると思います。しかしながら、冬の間は、農業用水は殆んど田んぼには使わないのです。なんとかその水を利用できるように、働きかけをしていただきたいと思います。特に、粟田部地区は非常に水源不足で、現在は融雪には鞍谷川と月尾川の水を使っているのですが、地下水に比べ融けるのは遅いので、日野川用水をぜひ使えるような方向で提案をしていただきたいと思います。

次に、市民バス「のろっさ」ですけれども、非常に利用者が増えたということですが、粟田部の人はほとんど乗っていない状況です。実際は、服間地区、月尾地区、南中山地区等の人が粟田

部へ来るのに乗っておりますが、粟田部の方が逆に、周辺のほうへ行くことはあまりありません。

粟田部の方も武生地区の市街地へ出るために乗れるような対策をお願いできないかということです。福鉄のお客さんが少なくなってることもわかりますけれども、ただ本数が少ないということが一つの問題点なので、よろしくをお願いします。

A 6：市長

限られた時間ですので、簡単にお答えしますと、サイレンの件は先ほど総務部長からも話がありましたとおり、モーターサイレンを基本に置くように、今回の訓練を踏まえて改めますので、ご指摘の点についてはそれで改良できていると思っています。

次に、花筐公園の維持管理については、私どもも新聞の「放置」という表現にはたいへん怒りを感じております。適切に管理をしていると思っておりますし、皆さんとともに公園を愛する中で精いっぱいのことをやっているという自負もございませぬ。てんぐ巣病等についても、しっかり対応したいと思っております。

最後に融雪の件は、今、日野川用水の水利権について、市として、農業用水から融雪に活用できるように、国や県との協議を進めております。事務的にどこまで話が積み上がっているか報告を受けておりませんが、おっしゃられたような問題意識で、きちっとした積み上げをしながら、農業用水を融雪にも活用できるように努力していきます。

<一般質問>

Q 7：栄区二日市区長

<市の配布物について>

今年、初めて区長をやらせていただいておりますが、市やその他の団体からの配布物を15日に配るような仕事もやらせてもらってます。今年、初めてなのですが、資料がたくさんあり、自分と家内と娘3人で1日中かかります。もう少し資料をなんとか減らしてもらえないかなと前々から思っておりますので、その点よろしくをお願いします。

A 7：総務部長

ただ今の配布物の件でございます。以前から区長さん方から、「配布物が多い、資料が多い」という話をお聞きしています。市の方でも、できるだけ書類を少なくするために、まとめて広報紙に載せたり、あるいは皆様にお知らせしたいことはホームページ等に載せたりということで、精一杯配布資料を減らす努力をしているところでございます。どうしても皆さんに知っていただきたいということに限って、市の配布物を出させていただいておりますので、区長さん方には大変ご苦勞をおかけしますが、ぜひご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

Q 8：鞍谷区消防分団長

<消防団活動等について>

今年度4月から越前市消防団の粟田部分団長を務めさせていただいております。

私も消防団を23年ほど務めていますが、最近、出勤回数が少なくなっていると感じます。訓練等に出る回数や、参加人数も全員出ているのが半分にとりか、そのような状況になっているわけです。

私達が消防団に入ったときは、火事が多かったので、私も火事の現場で、本当の訓練ができて、ポンプ操作とかできるようになりました。

今、分団は24人いますが、その中でポンプを動かせる方がだんだんとお辞めになり、若い方が入ってきています。

昔は毎週日曜日に8時から夜回りをしていましたが、今はもう月1回になりました。また、月1回の車両点検に合わせて、実際に水を揚げる訓練をしていましたが、それも無くなりました。

そういうことで、いま本当にポンプ機械を操作できるというのは24人中4～5名しかいなく、また、サラリーマン団員も多くなり、いざ火災のときに非常に心配です。

何とかもう少し消防に対して、訓練等ができる予算を増やしていただき、消防団活動が充実するようよろしくお願いいたします。

A 8：防災安全課長

今お尋ねの消防団のことですが、消防団につきましては、南越消防組合の方が担当しておりますが、そちらの方でいろんな形での消防団等の訓練をさせていただいているところです。

ただ、地域の防災等につきましては、消防団の方々にも当然お願いをしているわけですが、各町内にも自警消防隊、それから今、各町内で設立をお願いしております自主防災組織もあります。

そういった中で、消防の初期消火等にかかる組織を備えていただいて、訓練等もこれから行ってほしいと思います。今お聞きしました意見については、消防組合の方にも伝えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

Q 9：蓬萊区長

<まちづくり施策の展開について：要望>

要望として、1点お願いいたします。

市長さんから新しい年度の事業について、ご説明いただきました。その中で特に、今問題になっております経済対策、あるいは街なかの活性化等の対応について、大変良い施策であると思いました。

しかし、あくまでも「点」なので、いい意味で「線」につなげていただく、あるいは「立体的」に進めていただくというようなことで、ちょっと抽象的かも知れませんが、施策を広げていただきたいと思います。いろいろ財政上の問題もあろうかと思うのですが、お互いに私たち住民も知恵を出しますので、「点」から「線」、あるいは「面」に繋げていただくように、ひとつがんばっていただきたいと思っております。

A 9：市長

当面、すごく需要が落ちておりますので、需要喚起ということで、国や県の経済対策を受けながら、精力的にやっていきたいと思っておりますけれども、基本は、一時の経済対策だけではな

くて、持続的に本市の産業全体を強化するところにあると思っております。

越前市は「ものづくり」の非常に盛んな地域で、これまでも技術がたくさん蓄積をされております。市といたしましては、ものづくりについての産業活性化プラン、これからの観光の振興を目指したプラン、また、最近では農業の振興に向けたビジョン、そういうものの着実な推進を図って、産業全般の強化を図るということ。併せて、新しい、これからの発展のためには環境を経済と結びつけるということが非常に重要になってくると思っておりますので、今回の経済対策の中にもそういう面を強化したり、市の組織機構も改めまして、産業経済部を、環境も含めて産業環境部に変更して、新しい環境分野に、私どもの特に強い「ものづくり」であるとか、今後の農業の新しいフロンティアを生み出せるような融合も含めております。

ぜひご期待に沿えるように、まずは当面の対策を打って、それ以降も安定的に本市の産業全般が競争力を持てるように頑張っていきたいと思っております。

Q10：富永区長

<鞍谷川の改修について>

先ほどからの市長さんのご説明をお聞きし、本当にご活躍をされていることを喜んでおります。

ちょっと市の問題とは違い、県の工事かも知れないのですが、私が住んでいる富永区としては、鞍谷川の改修工事を是非お願いしたいと思っております。

私の近くには五反田橋というのがありますが、そこのかさ上げをしていただきたいと思います。4年ほど前の水害の時に、低くなっていますので、溢れて一帯に水がつき、今でも地区の皆さんにお聞きしますと、雨がふるたびに恐怖感を感じるという話をよく聞いております。

これは、市の問題ではないのかも知れませんが、私らとしては、行政に要望するのは、市も県も同じでございますので、ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

A10：総務部長

私も、川のそばに住んでいて、水が増えるとちょっと不安な点がございます。鞍谷川の件については、今までもここにおられる福田議員のお力もいただきながら、県の方へかなり要望してまいったところであります。県といたしましては、堤防を築造するという事はなかなか難しいということで、中の土砂の浚渫で対応するという事でした。河川の中でもカーブの所は、どうしても土砂が溜まりやすいということで、五分市から粟田部にかけて、かなり土砂が堆積していますので浚渫をお願いし、今までに3年に1度ぐらいは実際、浚渫していただいているところでございます。

これからも県をお願いしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

閉会のごあいさつ 花筐自治振興会 副会長

予定の時間はオーバーしましたが、熱心に議論をいただき、ありがとうございました。

市長さんの街づくりに対する思いが、我々地域市民にもひしひしと感じられたわけでございます。また、市の幹部職員の方には、今まで質問のあったことについて、なるべく対応できることについてはお願いをしたいと思います。

町民の皆様には、市の事業・予算を活用しながら粟田部地区が活性化するように、皆さんのお力

添えをお願いいたします。